

別紙（第5条関係）

会 議 録

会議の名称	第3回和泉市生涯学習推進プラン・和泉市スポーツ推進基本計画策定委員会
開催日時	令和4年11月4日（金曜日）14時から14時45分まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター4階中集会室
出席者	澤村 直幸 委員、金谷 忠男 委員、恵山 文孝 委員、坂東 剛 委員、 野口 祥子 委員、駒澤 重信 委員、吉岡 隼平 委員、小前 恭則 委員、 鈴木 雄太 委員、竹内 靖子 委員（名簿順）
欠席者	門林 淳 委員、上西 恵子 委員、千葉 昌一 委員、門林 弘季 委員（名簿順）
傍聴者	1名
会議の次第	1. 議案 （1）計画（素案）の確認について （2）パブリックコメントについて 2. その他
会議の要旨	和泉市生涯学習推進プラン及び和泉市スポーツ推進基本計画の策定に係る調査審議に 関すること。
会議録の 作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の 確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他
備 考	

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

（司会進行：事務局）

- ・事務局より会議開催についての説明

本会議は公開することとなっていること及び傍聴者を報告

会議資料の確認

- ・事務局より出席委員数の確認

委員総数14名のうち、出席者10名、欠席者4名となっており、和泉市生涯学習推進プラン・和泉市スポーツ推進基本計画策定委員会規則第6条の規定に基づき、本会議は成立していることを報告

（司会進行：鈴木委員長）

1. 議案

（1）計画（素案）の確認について

事務局説明

第2回策定委員会で委員からいただいた意見を元に修正を行った。現行の生涯学習推進プランの「知の循環」に替わる重点となる表現について、本計画では「くわわる」「つながる」「ひろがる」をテーマとし、「市民誰もが、くわわる つながる ひろがる 生涯学習・スポーツの実現」を基本方針として位置づけている。また、第4章、第5章の各項目に「主な事業」を記載し、あわせて各項目の目標指標、進捗管理指標を定めた。理解しにくい言葉については、語句の整理を行ったのち、用語集と注釈のどちらかの形式で掲載を行う。サウンドテーブルテニスについては、写真等の画像で掲載を予定し、認知を図る。その他、文言の修正を行っている。第2回策定委員会で実施予定としていた施設アンケートについては、配布及び回収を終了し、分析等を進めている。施設アンケートは、利用者の声を集めることを目的としていることから、各項目の「現状と課題」に結果の反映を行うことを予定している。

委員長：事務局から報告があったことについて、意見・質問はないか。

委員：いいテーマだと思う。市民アンケートについて、高齢者の回答が多かったと認識している。これからパブリックコメントも実施すると思うが、具体化の段階では、要望等も高齢者の意向だけでなく、若者や市民全体の声を取り入れられるよう考えてほしい。

委員：13ページの図で住民基本台帳と国勢調査では平成27年と令和2年の人口が異なるが、問題はないか。また、写真が掲載され、雰囲気がやわらかくなったが、名称を記載すると市民によりわかりやすいと思う。

事務局：人口統計については、それぞれ資料が異なり、一般に公表された数字となる。他のプラン等を勘案して整理する。写真については、レイアウトのために一時的に入れている状態であり、これから実施するイベント等もあるため、入替えを予定している。先ほど事務局説明で述べたサウンドテーブルテニスについても取材依頼を行っており、写真の名称を含めて新たに作成を考えている。

委員：66ページのレクリエーションの説明について、仕事や勉強等の疲れをいやすだけのリカバーのみでなく、楽しさ、リフレッシュを含んだ言葉としてほしい。

委員：地域として学校との関わりが人材育成の面からも課題と考えている。校区内の小学校3校と中学校で関わり方について話し合っている。11ページに大阪の動向として、地域学校協働活動の記載があるが、和泉市ではどうなっているか。小中一貫校以外ではやっていないように感じている。

事務局：地域学校協働活動については、親学習、げんきっ子プラザ（和泉市放課後子ども教室）、学校支援活動、コミュニティスクールが該当するが、委員指摘の校区内の関わりについてはコミュニティスクールとして、事業推進を予定している部分になると考える。生涯学習推進室と学校教育室で今後の動きについての議論が始まっており、確定している部分がないため、計画に記載が難しい。確定すれば、どのような記載ができるか調整検討する。

委員：用語集に識字という言葉の説明を「読み書きに限らず生活に必要な能力」として追加してほしい。また、5ページに記載しているSDGsについて、4つのゴールを本計画と関係の深いとしているが、他の計画についても関係が深いと考える。写真については入替えを行うとのことだが、イラストについても説明を加えてほしい。本文・用語集ともに計画や法律に策定年等を文中に記載しているが、一覧や年表という形でまとめて記載する方がわかりやすいのではないか。

事務局：委員指摘内容について、再度確認調整を行う。計画等の年表については、当初記載していたが、企画部局と調整を行い、総合計画と違い、個別計画では年表とすると、計画範囲がわかりづらくなると指

摘があり、現在の形式で記載している。

委員：コロナの中、誰一人取り残さないようにシステムが作られても、うまく使えていない現状がある。利用者とシステムの間をつなぐようなことがあるとよいと思う。バリアフリー化、ユニバーサルデザインといった説明がそれにあたるのか。

事務局：再度、文言等について調整したいと考える。

委員：市民アンケート調査結果として、生涯学習・スポーツに関する情報の入手手段については、「広報いずみ」が69.7%、「生涯学習情報誌「まなびのいずみ」」は6.2%となっているが、発行頻度が異なるものを同列に並べるのはどうなのか。

事務局：まなびのいずみは、6月と11月の年2回発行であり、主に本市の社会教育団体といった補助金団体やはたちのつどい、文化祭の情報を掲載している。募集やイベントの時期とタイミングの合致が難しいこともあり、事務の整理を検討している。来年度予算の話になるため確定ではないが、ペーパーレスが推奨されていることもあり、アプリに情報を集約し、市民が情報を得られる形を模索している。

(2) パブリックコメントについて

事務局説明

和泉市生涯学習・スポーツ推進計画に関して、素案の趣旨・内容その他必要な事項を市民等に広く公表し、計画等の最終的な意思決定を行うための意見を聴取することを目的として実施する。概要として、12月市広報紙及び本市ホームページ上で周知をし、令和4年12月9日から令和5年1月10日までの約1ヶ月を予定している。公表場所として、本市ホームページ、市役所2階市政情報コーナー、市役所5階生涯学習推進室窓口、TRC和泉図書館、TRCシティプラザ図書館、TRC南部リージョンセンター図書室、TRC北部リージョンセンター図書室、人権文化センター内「にじのとしょかん」を予定。意見聴取方法としては、生涯学習推進室あてのFAX、郵送、Eメール及び窓口への直接持参にて受付を行う。提出された意見等を考慮し、計画等の最終的な意思決定を行う。意見への個別回答は行わず、提出された意見の要旨とそれに対する市の考え方を一定期間、公表場所で公表、類似の意見については、まとめて公表することがある。意見の募集は具体的な意見を収集することを目的としていることから、内容が案件に合致しないもの及び賛否の結論のみ

を示したもののや、趣旨が不明瞭なものなどについては市の考えを示さない場合もある。

委員：パブリックコメントやアンケートについて、QRコードをつけたポスター掲示をスポーツセンター等関係施設で行うということが、大学等では行われるが、スポーツ系の場所が公表場所に入っていないのではないか。

事務局：パブリックコメントは、市の統一的な手法であり、周知方法や公表場所も定められている。そうした基本ルールに基づいて実施するが、実施案内については、委員指摘の方法も踏まえ、市民周知に努めたいと考えている。

2. その他

事務局

今後のスケジュールについて説明

11月10日に開催予定の第11回教育委員会定例会にて骨子素案及びパブリックコメントの実施について報告を行い、その後12月9日から令和5年1月10日の期間で市民に対し広くパブリックコメントを実施する。その結果を受け、第4回策定委員会を令和5年1月23日から27日の間に開催し、パブリックコメント結果報告及び計画原案の確認を予定している。第4回策定委員会の日程調整につきましては、11月中旬に策定委員の皆様へ送付を予定している。

委員長：他に質問等がなければ、これをもって、本日の和泉市生涯学習・スポーツ推進計画策定委員会を終了する。